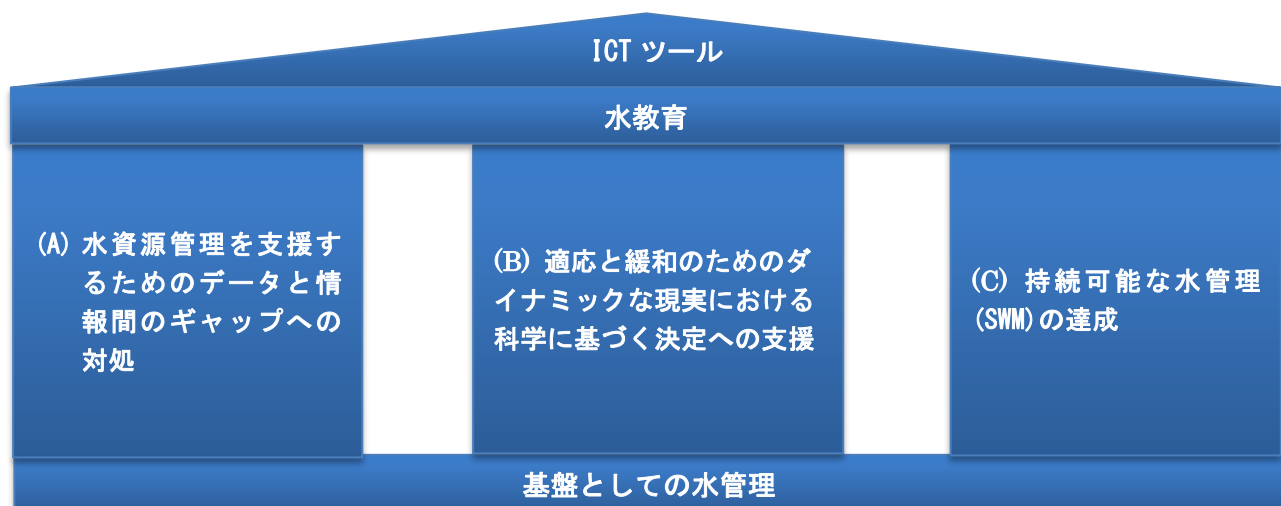


IHP 第 9 期戦略計画（案）の骨子

- IHP 第 8 期戦略計画（2014-2021）においては、水セキュリティにおいて学際的で革新的かつ環境に優しいツールとアプローチにより重要な進歩があった。IHP 第 9 期戦略計画（2022-2029）においては、さまざまな水に関連する課題とともに持続可能な開発目標 6（SDG6）に貢献するため、継続的に取り組むことが強調されている。
- IHP 第 9 期戦略計画の現時点でのフレームワークは、ユネスコの主要な事業との相関性も念頭に、水管理を基盤として、以下の 3 つの主要な柱で構成される。また、3 つの柱を遂行するためにも、水教育と ICT が水資源の管理における新たな時代を牽引するとしている。
 - A. 水資源管理を支援するためのデータと情報間のギャップへの対処
 - 1. データ収集ステーションの密度を高め、検証方法を改善することにより、水データの質と量を改善する
 - 2. データのアクセシビリティと可視化、比較可能で使用可能なデータ及びオープンアクセスデータを有効にする
 - 3. データを正しく分析及び解釈し、より良い情報をもたらすための科学的研究方法の開発と使用の強化
 - 4. 世界が相互に学びあうため、科学情報のアクセシビリティ、可視化、及びオープンアクセスを可能にすること
 - 5. 科学情報の新しい解釈方法を政策決定に使用可能な形式に広め、開発することを支援する
 - 6. すべての利害関係者に情報を広めるために結果を示し、水に関して社会が直面するリスクに対する一般の認識を高める
 - B. 適応と緩和のためのダイナミックな現実における科学に基づく決定への支援
 - 1. グローバルな変化への適応
 - 2. 環境悪化の緩和
 - C. 持続可能な水管理（SWM）の達成
 - 1. 非従来型の水資源ツール（NCWR）の使用
 - 2. 持続可能な水管理の原則とツール（SWM）の採用/適応



タスクフォースのスケジュール

第1回会合 2019年1月15日、16日にて、第9期計画の0次案の策定

- ・ビューロー会合：1月16日、17日にて、0次案の協議
- ・2019年1月下旬までに、コンサルタントと事務局と協議
- ・2019年1月末～3月：各国 IHP 国内委員会等との協議
- ・2019年3月末：0次案協議の結果まとめ

第2回会合 2019年4月中旬、第9期計画の1次案の策定

- ・2019年7月：国連水ファミリー、国際機関、NGO 等へ1次案の共有
- ・2019年10月：第207回ユネスコ執行委員会に情報共有
- ・2019年11月：第40回ユネスコ総会に状況報告
- ・2019年12月：国連水ファミリー、国際機関、NGO 等からの意見集約
- ・2020年1月：タスクフォース、コンサルタントに1次案への意見集約の共有

第3回会合 2020年1月末／2月初旬、第9期計画案まとめにかかる協議

- ・2020年3月：第29回 IHP ビューロー会合にて案を協議・承認
- ・2020年4月：IHP 事務局で案をまとめる

第24回 IHP 政府間理事会（2020年6月）：第9期計画案の審議・承認

- ・2021年10月：第210回ユネスコ執行委員会における承認
- ・2021年11月：第41回ユネスコ総会における承認
- ・2022年1月：ユネスコ水ファミリーへ報告

IHP 第 8 期戦略計画の概要

IHP においては、IHP 第 8 期戦略計画（2014－2021）「水の安全保障ローカル、リージョナル、グローバルな変化への対応」に基づき、6 テーマと、テーマごとに 5 つのフォーカルエリアを設定し、関連事業に取り組んでいる。

テーマ 1: 水関連災害と水文学的变化

1. グローバルな変化への適応としてのリスクマネジメント
2. 人間と自然の結合的プロセスの理解
3. グローバルとローカルな地球観測システムからの裨益
4. 不確実性への対処とコミュニケーションの改善
5. 異常事態への準備と対処のための水文学と水科学への科学的基礎を推進

テーマ 2: 変化する環境における地下水

1. 持続可能な地下水資源管理の強化
2. 帯水層涵養の管理のための戦略
3. 帯水層システムに対する気候変動の影響への対応
4. 地下水の品質保護の推進
5. 国境をまたがる帯水層の管理推進

テーマ 3: 水の不足と質への対処

1. 水資源の統治、計画、管理、配分、効率的な使用の推進
2. 水の欠乏への対処と望ましくない傾向を防ぐ予見の展開
3. ステークホルダーの関与、認識、紛争解決のための手段の推進
4. 統合的水資源管理 (IWRM) フレームワークにおける水質と汚染の対処
5. 水供給の安全と汚染管理のための革新的手段の推進

テーマ 4: 将来の水と人の定住

1. 革新的なアプローチと技術
2. 統合的管理アプローチのための大幅なシステムの変化
3. 高付加価値化と統合のための組織とリーダーシップ
4. 途上国の新興都市における機会
5. 地方への定住における統合的発展

テーマ 5: 生態水文学、持続可能な世界のための技術

1. 集水の水文学的容積 - 潜在的脅威の明確化と持続可能な発展のための機会
2. エコシステムの潜在力強化のための集水構造の形成
3. 水と生態系強化と生態系サービスの強化のための水文学的システム解決と生態学的技術
4. 都市型生態水文学 - 都市における雨水の浄化と維持、健康と生活の質向上のための潜在力
5. 大陸から沿岸への連結性と、生態系の機能維持復元のための生態水文学的基準

テーマ 6: 水教育、水の安全保障への鍵

1. 水に関する高等教育と水セクターにおける職業能力の強化
2. 職業教育と水技術者のトレーニング実施
3. 子供、若者のための水教育
4. 非公式な水教育を通じた水関係事項への意識向上
5. 国境を越えた水協力のための教育